

学年	2	科目 分類	数学A I	講義	H24前期	学習教育 目標	担当	佐藤志保
学科(1年 はクラス)	S		Mathematics A I	必修	2単位	2		SATO SHIHO
概要	関数として記述された様々な現象を理解、具瀬喫するための手段として、微分積分に関する講義を行う。							
科目目標 (到達目標)	関数の極限の計算ができるようになる。関数の導関数が計算できる。関数の導関数の符号を調べて、関数の増減を調べることができる。関数の最大・最小問題に応用することができる。							
教科書 器材等	微分積分 I、新訂微分積分 I 問題集 (大日本図書) 新盤高専の数学 2 問題集 (森北出版)							
評価の基準と 方法	定期試験 (100%) ただし各課題、基礎学力試験、授業態度などにより、加点、減点を行う。							
関連科目	1年の数学							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第 1回		関数の極限 1						
第 2回		関数の極限 2						
第 3回		関数の連続						
第 4回		中間値の定理						
第 5回		微分係数						
第 6回		導関数						
第 7回		導関数の公式						
第 8回		前期中間試験						
第 9回		合成関数の導関数						
第10回		合成関数の導関数 2						
第11回		三角関数の導関数						
第12回		三角関数の導関数 2						
第13回		逆三角関数						
第14回		逆三角関数の導関数						
第15回		指数関数・対数関数の導関数						
第16回		指数関数・対数関数の導関数 2						
第17回	×	前期中間試験						
第18回		平均値の定理						
第19回		平均値の定理 2						
第20回		関数の増減と極値						
第21回		関数の増減と極値 2						
第22回		関数の最大・最小						
第23回		関数の最大・最小 2						
第24回		接線と法線						
第25回		接線と法線 2						
第26回		不定形の極限						
第27回		不定形の極限 2						
第28回		高次導関数						
第29回		曲線の凹凸						
第30回		媒介変数表示						
第31回		媒介変数表示された関数の微分						
第32回		問題演習						
第33回		総合問題演習						
第34回	×	前期末試験						
オフィスアワー	会議等のない放課後 17:00 まで							
授業アンケート への対応	板書のにあたって字の大きさ、位置に気を配る。							
備考	授業を進めるにあたって必ずしもシラバス通りに行えるとは限らない。							
更新履歴	20120322 新規							